

## 障害のある学生の修学・就職支援促進事業 選定状況

## ○選定事業一覧

大学名	<p>申請代表校：東京大学</p> <p>共同申請校：筑波大学、富山大学</p>
取組概要	<p>本事業では、障害学生支援について、I. 全国の大学や学生等からの障害学生支援やキャリア移行支援に関する相談窓口の運営のほか、II. 大学を対象とした専門的研修プログラム（修学支援・キャリア支援等に関するセミナー及び人材育成のための集団スーパービジョン）の実施、III. 障害学生支援及びキャリア移行支援の充実を目指した全国各地での産学官民連携ネットワーク構築、という3つの柱を中核とした事業を行う。</p> <p>事業実践については、これまで「障害と高等教育に関するプラットフォーム形成事業」および「障害学生の修学・キャリア移行支援促進事業」、「障害学生の修学支援とキャリア移行に関する地域連携促進事業」で構築してきた全国155の大学及び企業・団体とのネットワークおよび全国各地での地域ネットワークとの連携、大学・企業との連携で構築した8つの専門部会とそれら部会が開発した研修・啓発コンテンツ、全国130校以上の大学が参加するAHEAD JAPAN等との連携を活かし、事業の3つの柱を効果的に実現する。</p>
大学名	<p>申請代表校：京都大学</p> <p>共同申請校：大阪大学、九州大学、岐阜大学、筑波技術大学、広島大学</p>
取組概要	<p>高等教育機関における障害学生支援のネットワークを強化し、スタンダードの構築を目指すことが本事業の目的である。この目的を果たすために、事業展開を【1】高大接続・移行支援（高専への進学時含む）、【2】入学後の合理的配慮の提供をはじめとした修学支援、【3】大学等から社会へ進出する際の就労支援をはじめとした社会移行支援の3つのフェーズに分けて、以下の具体的な取り組みを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ネットワークを活用した障害学生支援に関する相談プログラム</li> <li>② 障害学生支援に関する地域ネットワークの形成・連携プログラム</li> <li>③ 障害学生支援に関する専門的ノウハウ等の共有化プログラム</li> <li>④ 学生・教職員等の理解啓発に資する情報の共有化プログラム</li> <li>⑤ 各プログラムの情報アーカイブと普及・展開</li> </ol> <p>また、いずれの事業においても一過性のものではなく、継続的に効果が波及することを目指して、各プログラムを実施するものである。さらに、事業の成果を特定の地域に限定せずに広く普及することで、本分野全体のスタンダード構築・向上を目指すものである。</p>